

〔釈文〕

諸職吾沢銭

地震／訶良／革／天／尚／代賀／直利／家茂／遊都足／仁茂優／都多理／延寿戲讚

（材木屋）「このどのじしん（今度の地震）で山の木ハ大かた／きりたしただか、まだく／入用と／ミへてちうもん（注文）がたくさんだ／から今山にできてある／ちいさい木をひとばん（一晚）の／うちにたいぼく（大木）に／なるやうに守て／下さいま

（鷹）「わつちらハひいき（贖戻）になるおとくい様がおゝひ（多い）から、どふもこんなに／いそがしいのでハこまるから、かくべつよく（欲）のふかひ（深い）／ことハいゝやせんから、どふぞ十人りきになる／やうに守つて下さいやし／なまづさまたのミ（頼み）で／ございます

（灯心売り）「わたしハ／とうしん（灯心）をうるものたか／此ころハつちをかつぐ／のが大ぜに（銭）ゝなる／そふだから、かついで（担いで）ミまするに／どふもおもく（重く）ていけませんから／五人りき（力）ても十人りきにもなる／やうにお守り下さいまし、そのかハリ／一代なまづをたへませんから、とふぞおねがひくく／

（車夫）なんだかんだと／いふが／かいうん（開運）と／いふのハこんどの／ぢしんだ、これから／大がね（大金）を取のた、ソレしゆつ／せさま（出世様）ののぼりくち（登り口）だ／ゑんさらほいく

（商人）せけん（世間）でハやたらになまづをわるくいふ（悪く言う）が／南無ぢしん大明神さまだ、まづ／こんなにかねもふけ（金儲け）をさして／くれるハなまづ様の／ふさげだしたおかげだ、そうでねへと／なかく／うまひしるをすふ（美味い汁を吸う）こともならず／かりたく（仮宅）へひとばん（一晚）いくこともできねへことだ／さて又あんまりよく（欲）のふかひ（深い）やうだか／此かねが五百両にもなればよい／から、どふぞ守つてくだ／さいまし（商人）「こんどのちしんかねへと／くち（口）かひあかる（干上がる）所た／ツイどろく／と／やらかした／ばかりでソレ／大きにさいはい（幸い）だが、あんまりよくのふかいことはいハねへから／このさいふ（財布）に十五六ばいかね（金）がとれてほどの、よいとくいの／どつさりふへる（増える）やうに守つてくださいまし、そうなるとおまへの／すきなとうなす（唐茄子）のかばやき（蒲焼）と、かしらだまのうまに（うま煮）へひやうたん（瓢箪）に／さけを入れて上やすからどうぞ願のとふりかなへ為へく

（屋根屋）「やねやのたけくぎ（竹釘）をくつてもさつはり／うまくねへせかいであつたが、今ハ／どふもいそがしいから、けつかう（結構）／だけれど、そこもこゝも／いちどき（一時）だからイヤ／モこまるとはいふものゝ／こばん（小判）でぶたれル／からあり／がたひく

（かわらばん屋）「わつちらなぞハぢしん（地震）だの火事だのせけん（世間）のさハぎて（騒ぎて）／なくちやもふかり（儲かり）やせんへ、こんなことがないとがきどう（餓鬼道）の／ていそう（体相）だ、うまいさけ（美味い酒）でものむにや人のうれ（売れ）／そんなものをかぶせてほる（被せて彫る）／くらしいのちへ（知恵）だ／なまづさんいゝくふう（工夫）があらバ／おしへてくん／さいナ

（商人）「このたびハ思ひがけない大がねをもふけ（大金を儲け）ました／しかしゆりつぶれた

所やるいせう（類焼）した／人なぞハさぞこまるだろから、なんでもやすく／うる（安く売る）心だ、それでももふ（儲）かるからしかたがない／かね（金）のなるをもつてるといふハわれら（我等）のことで／ござろう、なむ地しん大明神く、ヲヤ大きなこへ（声）をした地しん大明神く、大金をもふけ（儲け）さし為へく

（土方）「どかたといつて人かいやし／くいふ（卑しく言う）けれ共、どかたで／道中がなるものかといつて道中の土ハ何も／ならねへか、御とうち（御当地）の土を壱神金神といふ／所た、とかた（土方）の子ゑんま（閻魔）の子といつしよに／いふけれとおいらアこくらく（極楽）だ／かのおやしき（お屋敷）の御用にハよつほど／どしや（土砂）がいるから、するがのふじ（駿河の富士）の／山をそっくりとりよせたら／せわ（世話）がなくてよからう／こいつハなまつとのゝちから（力）てなくちや／いくめへて

（商人）「こまいかきのこまか／なせうばい（細かな商売）でもコレ此／とふりこばん（小判）をたくさん／もふけた（沢山儲けた）所がありがてへく、これからかりたく（仮宅）でも／ひやかしと出かけ／やせう